

青山高校に小さな訪問者が来た！

～小学生の青山高校探検～（都立青山高校）



校長先生の話当真に聞いています！



小学校より広い図書館にビックリ！



図書館の仕事を体験中

9月20日（火）、青山高等学校は、港区立青山小学校2年生児童6名の訪問を受け入れました。

今回の訪問は、近隣の青山小学校から、小学2年生「生活科」の町たんけんの授業で、ぜひ児童に青山高校の学校の様子を教えてほしい、という依頼を受け実現しました。

小学生の生活する地域は、生活の場であるとともに、人とのコミュニケーションを学ぶ場でもあります。この訪問では、本来地域で育成されるべき児童の社会性やコミュニケーション能力の育成に、青山高校が協力する良い機会となりました。

校長先生は、児童から「校長先生はどんなお仕事をされるのですか？」「どうして校長先生になったのですか？」などの質問を受けました。

図書館では、司書から紹介された高校生に人気のある本や3D絵本を閲覧し、バーコードの読み取り体験をしました。児童は、小学校と高校を比較して、図書館の広さと蔵書数の違いに大変驚いたようです。

今後も青山高校が近隣住民や地域の方に愛着や親しみをもっていただけるよう、地域との交流を大切にする教育活動に取り組んでいきます。

（副校長 岡田 貴夫）

☆参加した児童の声☆

- ・校長先生、質問をきいてくれてありがとうございました。
- ・学校をあんないしてくれて、ありがとうございました。
- ・としょしつには、むずかしい本があつて、すごいなと思いました。
- ・また。青山高校に来たいです。